

寄付金募集趣意書

一般財団法人日本栄養実践科学戦略機構

(2024年2月9日発足)

「一般財団法人日本栄養実践科学戦略機構」

寄付金募集趣意書

— 栄養の力で人びとを健康に、幸せにするために —

謹啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

栄養は健康を生み培う力です。栄養は食を命に結びます。

栄養は健康を生み培う力です。

健康が基本的人権であるなら、栄養は健康の根源をなす人権です。すべての人に、適切な栄養を享受できる権利が保障されなければなりません。

地球上には、食糧の社会的で絶対的な欠乏のもたらず飢餓に苦しむたくさんの人びとがいます。それだけではありません。世界の国や地域のいたるところで、栄養不良（malnutrition）が起きています。

そこで、栄養実践科学（NUTRITIONAL PRACTICAL SCIENCE）を手に、人びとの支援をとおして栄養不良をなくす闘いを担うよい質の専門職をより多く生み出す事業を主軸として、栄養実践科学の専門的かつ戦略的な教育、研究及び技術開発と、その成果の発信交流及び共有基盤の構築及び運営を行うことにより、保健医療福祉栄養の発展と拡充、並びに国内外の公衆栄養の普遍的で持続的な向上に寄与することを目的として、一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構を設立しました。

私たちは、人生のさまざまな場面で健康と幸せを願って食に臨む人びとの傍らに、栄養実践科学を駆使して、栄養の力で人びとを健康に、幸せにするために事業を展開いたします。

つきましては、この「一般財団法人日本栄養実践科学戦略機構」設立趣旨にご賛同頂き、ご援助賜りますようお願い申し上げます。

令和6年年6月吉日

謹白

一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構
代表理事 理事長 中村 丁次

【目的】

本法人は、栄養実践科学の専門的かつ戦略的な教育、研究及び技術開発と、その成果の発信交流及び共有基盤の構築及び運営を行うことにより、保健医療福祉栄養の発展と拡充及び国内外の公衆栄養の普遍的で持続的な向上に寄与することを目的とします。

【事業の内容】

本法人は、目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 栄養実践科学に係る専門職の教育及び研修
- (2) 栄養実践科学に係る戦略的調査研究及び同調査研究助成
- (3) 栄養実践科学に基づく栄養食事療法その他の保健医療福祉等に係る栄養の指導及び管理に関する技術開発
- (4) 栄養実践科学に関する国際的栄養専門職の人材育成支援
- (5) 上記各号の事業の成果の発信交流並びに共有基盤の構築及び運営

【寄付金の使途】

- ・ 上記各号の事業及び各号の事業に附帯・関連する一切の事業の実施
- ・ 栄養実践科学に関する情報収集及び国内外の各種団体・研究機関・民間企業等との多様で質の高い研究・開発に向け、産学官連携・協働の推進
- ・ 上記各号の事業の推進等を含む機構の法人運営及び運営全般

【寄付金額】

- ・ 企業・団体等 一口 100万円（何口でも可）
- ・ 個人 一口 3万円（何口でも可）

【寄付金の振込先】

別紙の寄付金申込書を「一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構事務局」宛に E-Mail (info@nups.or.jp) またはFax (03-3578-7070) ご送付をお願いいたします。

お振込み先

金融機関名	口座名義	口座番号
三菱UFJ銀行 本店	(一財) 日本栄養実践科学戦略機構	普通 2693243

【事務局】

一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構事務局

〒105 0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル7階